

移動課題の解決に向けた 次世代モビリティサービスの導入における それぞれの役割について（たたき台）

令和元年10月25日

次世代モビリティサービスの在り方に関する検討会
事務局

それぞれの役割について(たたき台)

- 移動課題を次世代モビリティサービスの導入により解決を図るためには、大分県だけでなく、市町村、交通事業者、サービス利用者・提供者などの連携は不可欠。

大分県 (事務局)

- 検討会での結果を踏まえ、大分県として**目指すべき大きな方向性**を示す。
- ①各市町村における**地域課題を調査**し、
②各市町村で共通の課題に関する**実証実験等を通じた情報提供**や、
③**データ化の促進等**担い手となる関係者間の**連携を促す環境整備**により、各市町村における次世代モビリティサービスの実装を後押しし、「移動」に関する**地域課題の解決**と、「移動」を介した**地域課題解決**につなげていく。
- 市町村を越える**広域連携も視野**にいたれた検討を行う。

サービス利用者 (福祉・観光施設等)

- サービスの受益者として、その検討・実装に必要な情報提供等、**地域課題の解決に向けて共に取り組む**。

検討会 (各団体の代表)

- ◆ 先進事例の収集や実証実験の実施、関係者からのヒアリング等を通じて、大分県として**目指すべき大きな方向性**を検討する。

市町村

- 移動等に係る地域課題を明確化し、**地域における次世代モビリティサービスの検討・実装**を担う。

サービス提供 事業者

- 地域におけるサービスの担い手として、**地域課題の解決に貢献**する。

交通事業者

- 地域におけるサービスの担い手として、**地域課題の解決に貢献**する。